



まず、勉強会から始めてはどうか

川の影響については、上流の水門で松川に取水する際、それらの水量も考慮すれば対応できるのではないのでしょうか。

そして、いずれにしても松川といち川の流れの合流点の松川側には水門と堰のような施設が必要になると思います。その役割の一つは、いち川の水位が低い時に松川の水位を維持すること。二つ目は、いち川の水位が上昇した時に、松川への流入を止めることです。

以上のことを実行すれば、松川の水位が一定化し、冠水して遊歩道がへドロで汚れるということはなくなるのではないのでしょうか。

大雨になると下水管の容量オーバーで、松川に下水が入ることがありますが、下水道の整備が進めば改善されると思います。

河川公園化と にぎわいづくり

水位が一定化されると、サンアントニオのように、川べりに花と緑が溢れる美しい街を作りだすことが可能になります。(本当は、神通川を埋め立てて県庁や市役所を建てる時に、そういった河川公園化をするという

内山宏文さん

建設省北陸地方建設局
富山工事事務所長

松川の水位一定化 のために

松川の水辺の遊歩道が冠水しないようにするには、1、下流のいち川の流下能力を高める(掘り下げ)、2、上流の磯部の水門(神通川への放流を行う水門と松川へ水を取り入れる水門の2つ)をきちんと管理する(夜中の出水に対応するには、自動化の検討も一つ)の2点が考えられます。

1については、県の方で計画されて順次工事をしておられるそうですので、それを待つことになります。2の放流水門については、自動化をするならば、ゲート動作時に人が近づかないように安全対策を講じる必要があるでしょう。

松川に流れ込んでいる3本程の小

じっくり飲んで、話をしないか。

喫茶店から居酒屋に転身して三年。

日本酒を飲まなかった私も

ようやくその味がわかるようになりました。

常連さんには県外出身者の方も多く、

キーンと冷えた若鶴吟醸生酒は大変評判です。

新鮮な香りとほどよい辛さが受けて、

気がついたら十本目：なんてことも。

落ち着いてじっくり飲む時はやはり、日本酒。

気のはらないお客様と毎日楽しく飲んでいきます。

食処「都味喜」 マスター 朝矢 三雄



若鶴

清酒

するならば、ゲート動作時に人が近づかないように安全対策を講じる必要があるでしょう。
松川に流れ込んでいる。本程の小

溢れる美しい街を作りだすことが可能になります。(本当は、神通川を埋め立てて県庁や市役所を建てる時に、そういった河川公園化をするという

計画になっていたらもっと良かったのかもしれないが)

今からやると大変ですが、やるとしたら第3セクター方式になるでしょう。一番大きな問題は、誰がお金を出すかということです。おそらく何十億、何百億かかるでしょうから。それをすることによって、人も集まり、採算も合うという絵を描いて、やる気のある事業者を見つけなければなりません。税金だけではとても無理です。

その前にしなければならぬことは、富山市のいろんな事業や、駐車場などの周辺環境と整合性のとれた、バランスのある全体的なマスタープランをきちんとつくることです。その中では、10年〜30年ぐらいの計画を立てなければなりません。

まず、民間の有志が集まり、「松川を考える会」みたいなものをつくつ

て、勉強会から始めてはどうでしょうか。そして、市や県の技術者に来てもらって、技術的に矛盾がないかアドバイスを受け、よくよく研究する必要があります。

その時に大事なことは、ブランドで楽しむ、遊ぶ、という余裕を持つことです。また、自由に意見が言える場をなければなりません。

そして、夢を持っている仲間を増やしていく。そういうことを長いスパンでやっていかねばなりません。そうするうちに、市も効果や実現性を判定して、動き出すでしょう。

そして、県なり国に、市の要望として上げていくことになるでしょう。

サンアントニオの川を生かした街づくりの素晴らしさを市民の皆さんにもわかって頂く為には、まず城址公園などの公有地でモデルを作ってみるのも一つかもしれません。⑤